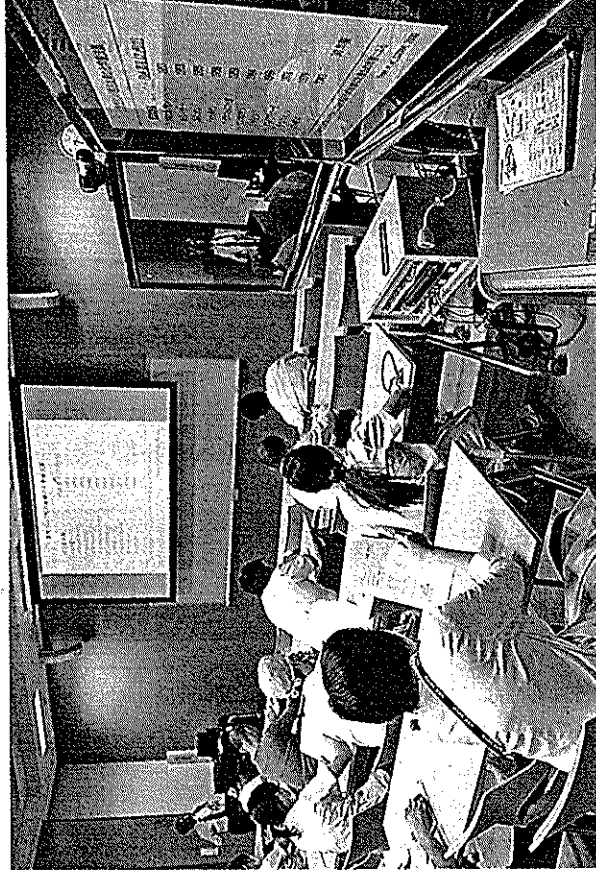


研修医と学会 教育

主要病院ネット化運用開始

県民福井
23.5.14



専用システム（右側の機器）でほかの病院に配信された福井大付属病院の講義＝永平寺町の同病院で

講義中継 症例検討も

県内に勤務する研修医の教育を効果的に実施するため、県内の主要病院をテレビ会議などで結ぶネットワークシステムが完成し十三日、運用が始まった。当面は永平寺町の福井大付属病院による講義を他の病院に中継し、各病院の研修医もリアルタイムで学んだ。病院間での症例の検討などにも活用可能で、用途が広がれば医療の高度化に役立つと期待されている。

「ふくしネット」と名付けられたこのシステムは、同付属病院のほか、県立病院、福井赤十字病院、県済生

会病院、敦賀市立病院、公立小浜病院が参加。年度内に福井総合病院も加わり、県内で二年目以内の初期研修医を受け入れている「臨床研修病院」七カ所全てをネットワーク化する。

テレビ会議がシステムのメインで、各病院で行われる講義などの画像や音声を高品質で送受信でき、遠隔地の講義も手軽に受けられる。インターネットも併用してパソコンで受信することも可能だ。NTT西日本福井支店がシステム構築に当たった。

当面は同付属病院で毎週金曜日に行う必修講義を、他の病院に送信する。初日はがんの化学療法の基礎に関する内容で、送信先も含めて計六病院の初期研修医ら約六十人が参加。中継先の市立敦賀

病院からの質問を受け付けるなどしていた。

システム導入の中核を担った福井大医学部では「将来は病院内での症例検討などの用途にも使いたい」としている。一般の医師による情報交換などにも幅広く活用することで、各地域の医療を担う医師のさらなるレベルアップにもつなげたい考えだ。（桂知之）

研修病院でTV会議

県内6院、勉強会を中継 運用開始

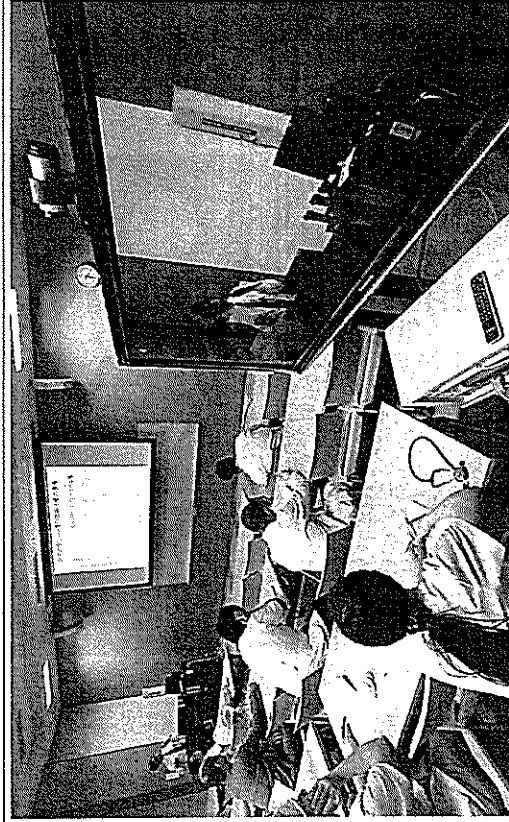
運用開始

研修医を受け入れている福井大医学部附属病院（永平寺町）など県内の6臨床研修病院は、それぞれをインターネット回線をつなぐテレビ会議システム「eクリシ・ネット」を整備し13日夜、運用を始めた。福井大病院が週1回、専門医による研修医向け勉強会を他の5病院に中継し、県内研修医のレベルアップを図る。

研修医は現在、県内に約120人おり、各病院がそれぞれ受け入れる年間の指導を行っている。ただ指導に当たる専門医らの数は、大学病院と他病院で大きく異なることから、県の寄付講座の福井大医学部地域医療推進講座が中心となり同ネットの整備を進めてきた。

6病院は福井大病院のほか県立病院、福井赤十字

病院、県済生会病院、市立敦賀病院、公立小浜病院、福井総合病院も年



県内の臨床研修病院に中継された勉強会。モニター上のカメラで撮影し配信する。13日、福井大病院臨床教育研修センター

内に加わる。各病院が大型モニターとカメラを研修室などに設置、福井

大病院の研修を中継し、研修医が自分の都合に合わせて受講する。同ネットはテレビとパソコンを組み合わせていることが特徴で、講義で使われる資料も、詳細にモニターに表示できる。各病院から講演会などを発信できる。

運用初日のこの日は、がんの化学療法についての講義が中継され、福井大病院の35人を含め計約60人が聞いた。講義後の質疑応答では福井大病院の医師に、市立敦賀病院の愛護生が突っ込んだ質問をする場面もあった。

同講座の寺澤秀一教授は「将来的には、各院の研修医が意見を出し合う合同の症例検討なども考えられる。看護師や技師を含めた医療職全体の教育に活用していきたい」と話していた。